



## 開成学園元理事長加藤丈夫先生がアミクスで講演されました

開成学園の元理事長の加藤丈夫先生がアミクスの授業見学のため来校され、その後、講演いただきました。開成学園は、1982年以来この30年間、東京大学への合格者数トップ校であり続けていて、2012年度は、202名が東京大学に合格しています。開成高校の1学年が400名であることから、2人に1人が東京大学合格を果たしていることとなります。開成学園とアミクスでは、その歴史、実践、そのアプローチからして、全く違う学校といってもいいでしょう。それを前提としながら、今回は加藤先生に「本当のリーダーの本物の作り方」をテーマにお話しいただきました。お話の中では、開成学園から見たとき、「アミクスはどのように見えるのか」についてもお話しいただきました。

加藤先生からはアミクスについていくつかのアドバイスをいただきました。「アミクスが国際的リーダーを作る具体的なトライであることは間違いない」と感じていただき、アミクスの教育理念についても、深い理解をいただきました。

また、加藤先生にはアミクスでの実際の授業もご覧いただき、「アミクスの子どもたちの目がとても輝いている。自然豊かな恵まれた環境と、先生方の迫力のある授業で子どもたちがとてもイキイキとしている。」というお言葉をいただきました。加藤先生、ご多忙の中、アミクスにご来校くださりましてありがとうございます。また、多くの方々にご講演会にご参加いただきまして重ねて感謝申し上げます。

以下が、加藤先生が講演会でおっしゃられたリーダー育成に関する内容の要約です。

### ●加藤先生のご講演内容の要約

今日の社会において期待されるリーダー像とは、教養を兼ね備え、向上心・正義感・倫理観を兼ね備えた「骨太の国際人(Global Guts Local Minds)」であり、その素質は、子どもたちが肉体的にも精神的にも一番成長する小学校から高校時代に形成されることから、その時期において教育環境の整備が鍵になる。『リーダーになれ!』という教育では、リーダーが育たないこと、大切なのは、学校の中で自然に盛り上がり上げていく雰囲気を作り出すことが「骨太の国際人」を育成するのに必要だということ。また、リーダー育成への取り組みには、「面と向かって対話できるコミュニケーション能力」も必要である。対話力の秘訣は「忍耐力」でもあり、自分の伝えたいことを忍耐強く伝えていくこと、そして相手が伝えようとしていることを粘り強く理解しようとするのが重要であると講演されました。



加藤丈夫先生(左)と講演会に出席された英語検定協会の理事長油井直次氏(右)

## オーストラリアの姉妹校を訪問しました。

オーストラリアのメルボルン州にある姉妹校であるEltham College of EducationとKorowa Anglican Girls' Schoolと、今後、学校間の連携強化と子どもたちの交流を活発に行うため、学校を表敬訪問しました。両校ともにスポーツや芸術などの課外活動が充実しており、早期から弦楽器の習得を義務付けるなど音楽にも力を入れています。また、大学進学に必要とされるVCE(高等学校終了検定)では、州においてトップの成績をおさめており、在校生のほとんどが毎年、国内外の有名大学に進学するという実績をおさめています。今後は、子どもたちの交流を促進するためスカイコンフェレンスや短期交換留学制度等を具体的に実施していきます。

### Eltham College of Education

1972年に設立された5歳から18歳(Prep~G12)までの一貫教育を行う男女共学のEltham College of Educationは、メルボルンタラマリン空港から約1時間の場所に位置しており、自然に恵まれ風光明媚なことで知られるResearch地区に立地しています。近隣には多くの文化、スポーツ、小売り施設があり、学校へのアクセスは、市内から電車でEltham駅で下車し、駅からは専用のスクールバスを利用することができます。スポーツ系から文化系まで多種多様な課外活動を利用することができ、音楽ではジャズアンサンブル、コーラス、ストリングオーケストラ、スポーツ系ではサッカーやクリケット、文化系では、ディベートなどの活動を提供しています。学内には子どもたちがレストランでの接客から運営まで体験学習できるよう、Swiper's Gullyというレストランがあり、昼間はカフェとして夜間はレストランとして一般の方にもサービスをしながらかホスピタリティーマネジメントを学ぶこともできます。ホームステイプログラムは13歳以上の子どもたちから利用可能で、ホームルーム先は学校が選定した家庭に限るので、子どもたちは安心してサービスを利用することができます。また、ホームステイ後、利用者の希望に合わない場合、再度ホームステイコーディネーターが、再度滞在先を選定してくれる。卒業後の進路としては、Melbourne University, Deakin University, RMIT University, Sydney University等の有名大学の他、アメリカやイギリス、香港の大学に進学しています。



学校正面



早期からパソコンを活用した学習を導入



ドラマ等を披露できる講堂を完備



小学校中学年から、パソコンで作曲する授業を導入



120年の歴史を感じさせる建物



高学年の集会の様子



幼稚園ですでにパソコンが導入



6年生からはノートパソコンによるノートテキングが必須

### Korowa Anglican Girls' School

1890年に設立されたKorowa Anglican Girls' Schoolは、メルボルンタラマリン空港から約1時間の場所に位置しており、学校から300メートルの範囲に電車やトラム(路面電車)を利用することができることから、比較的交通の便が良いです。女子校として120年の歴史を有する約700名からなる幼稚園(3歳児)から12年生までの学校で、個々の生徒に焦点を合わせるからこそ、それぞれの将来の成功へと結びつける鍵となるという理念のもと、子どもたち一人一人が“I can, I will”と自信を持つことのできるような教育を実践しています。幼稚園ではレッジョエミリア方式を導入しパソコンやi-PadによるLiteracy(言語)やNumeracy(数学)の教育を強化しています。3歳から体育の授業の中に週1回の水泳の授業を行い、2年生から弦楽器の習得を義務付け、6年生からはノートパソコンによる学びが主となる。7年生からはディベートの授業を必須としており、9年生では30日かけて地元の山を登山することにより子どもたちの自律とリーダーシップ性を育成しています。ビクトリア州におけるVictoria Certificate of Education(VCE:高等学校終了検定)では、州において常にトップクラスの結果を保っており、卒業生全員がMonash UniversityやMelbourne Universityをはじめ国内外の大学に進学しています。

## 4年生:点字を体験

うるま市社会福祉協議会のご協力のもと、9月21日に4年生の子どもたちが、福祉体験をしました。実際にアイマスクをしながら折り紙を折ってみたい、味覚がうまく機能するかを確認しました。また、はじめて点字を体験する子どもも多く、自分の名前を点字で打ってみたいとしました。参加した子どもたちからは、「今まで目の見えない人の気持ちなんて考えたことがなかったけれど、これからは、目の見えない人の気持ちになって、親切に接していきたいと思う」等の感想が寄せられました。



点字に挑戦する子どもたち

## NIE認定証授与

去る7月11日(水)に日本新聞協会よりNIE(Newspaper in Education:教育に新聞を)の実践指定校と認定されたことを受け、沖縄県NIE推進協議会会長の山内彰氏より表彰状が授与されました。



沖縄県NIE推進協議会会長の山内氏(左から3番目)から表彰状を受ける仲筋校長(右から3番目)

**プレスクール: AMICUS International Villageがオープン!**

プレスクールでは、“AMICUS International Village”と題して、8月20日から22日の3日間、サマースクールを開催しました。参加者は、アミクス村の村民になって、いろいろなアイデアを出し合い、「どんなお店にするのか」「お店の装飾をどうするのか」を話し合い、最終日に売り上げを競いました。サマースクールの初日に、まずそれぞれのグループに分かれて、どんなお店を出店するのかなど話し合いました。また、それ以外に万華鏡づくりや水遊びなどを楽しみました。サマースクールの最終日には、アミクスの回廊にたくさんのお店が開店しました。クッキー屋さん、かき氷屋さん、フルーツカクテルやアイスクリーム屋さん等の食べ物屋さんの他、フェイスペインティングやバルーンアート屋さんなどが立ち並び、アミクスマネーを使い、買い物を楽しみました。



万華鏡ってこのように作るんだ〜♪



基地内ボランティアとも楽しく水遊び!



May I help you? クッキーはいかが?



暑い夏には、みんなで水遊び、楽しいな〜。



フルーツカクテル、おいしかった!



風船屋さんコーナーは長蛇の列!

**夏休みのアフタースクールケアプログラム**

夏休みのアフタースクールケアプログラムは、8:30から18:30まで活動しています。9時になるとスクールバスが到着し、一気に子どもたちがやって来ます。幼稚園生から小学5年生まで約60人が参加しており、体育館でサッカーをしたり、教室で折り紙をしたり、本を読んだり、みんな自分自身でやりたいことを見つけています。また、全体の活動としておやつ作りや、グループの活動として陶芸や乗馬などもしています。今回、おやつ作りではアガラサーという沖縄のお菓子(黒糖蒸しケーキ)を作りました。みんなで材料を量り、混ぜて、型に入れて大きなお鍋で蒸しあがるのをワクワクしながら待っていました。アガラサーはもちもちしてとてもおいしくできあがりしました。お家に持って帰るお土産の分までたくさん作って大満足の子もたくさんいました。また、活動中には、上級生が下級生の面倒を見たり、勉強タイムではわからないところを教え合ったりと異年齢同士で仲良く交流している様子が見られます。今子どもたちの間で流行していることは、男の子はサッカー、女の子はシール集めです。男の子は体育館を汗だくで走り回り、女の子は集めたシールをお友達と見せ合ったり交換したり、とても楽しそうです。



私たちのケーキかわいいでしょ?



かぶとむしのお家を作ったよ!



かわいいシールがいっぱい!



シュートだ!!

**小学校: バランスボールが椅子替わり!?**

腰痛を治す、健康に良い、として親しまれているバランスボール。そんなバランスボールが集中力UPの効果があるとして4C(インターナショナルコース)では、椅子替わりに使われています。4Cの子ども達は“*This chair is the best*”と自慢げに話し、授業中はもちろん、ランチも上手にバランスを取りながら食べていました。アメリカでは、すでにオフィスなどで取り入れている会社もあるそうです。



100点とるぞ〜!!



自然と姿勢も良いですね!

**幼稚園: パースディパーティー**

8月31日には、Birthday Partyが行われ、8月生まれの子供たちを皆で祝福しました。英語で歌を歌ったり、主役の子は“*What animal do you like?*”などたくさんの質問され、恥ずかしそうに誕生日の冠で顔を隠す様子も見られました。主役の保護者の方もPartyに参加し、喜びが増す子供たち。保護者からお手紙をもらった時は、みんなの前で思わず涙を浮かべ、“お母さん大好き”とハグをして、感謝の気持ちを表していました。最後は保護者の方も加わり、フルーツバスケット! 参加者全員が大はしゃぎでした。



生地作りは意外に難しい!



おいしいピザの出来上がり!



みんなで協力!

**インターンがアミクスでの仕事を体験しました!**

学生の皆さんが、アミクスでの仕事を体験しました。英語による学校案内等、いろいろな業務にチャレンジしてもらいました。今回の経験を今後活かせるよう、頑張ってください!

具志川職業能力開発校から参りました池原由佳乃です。学童と事務の仕事を経験しました。学童では、子どもたちと遊んだりお菓子作りをしたり楽しい経験ができました。事務の仕事では、視察に来た方に同行したり、パンフレットを作ったり学校のことをより知ることができました。学童の部屋や教室は子どもたちの作品がたくさん飾られており、環境作りがとても工夫していることがわかりました。



初めまして。沖縄キリスト教学院大学の伊波沙月です。プレスクール、学童では、予期せぬ連続で、子供を相手にする仕事が多岐にわたることを学びました。事務の仕事は、業務量の多さに驚きました。初めの頃と比べて成長できたと思う業務は、電話対応です。スタッフの真似をする事から始め、伝言メモ表を作り、出来るだけ多く電話を取るよう心掛けました。事前の準備や、連絡を取り合う事は、どの業務においてもとても大切だと実感できたので、今後この経験を生かしていきます。



沖縄キリスト教学院大学の比嘉日那です。事務業務が主でしたが、児童と接する機会もあり新鮮でした。事務の仕事はここまでするんだと初めて知る事ばかりで、衝撃を受けました。また、自分が生徒の立場ではない学校が初めてで、刺激的でした。子供を相手にしているため予想通りかからないのが当たり前。その都度どう対処できるかが大事だと感じさせられました。この2週間とても貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



**編集後記**

ようやく沖縄にも秋の気配が感じられるようになりました。秋といえば「食欲の秋」「読書の秋」「運動の秋」など言われますが、皆さんにとっては、「どのようなか」でしょうか。10月4日からアミクスでは2学期が始まります。2学期には、スポーツデーやパフォーマンスデーなど多くの行事が予定されており、今からそれらの行事の準備を楽しみにしている子どもたちも多くいることでしょう。この前、子どもたちが入園・入学、または進級したと思ったら、もうすでに10月! 時の流れの速さを感じるとともに、子どもたち一人一人が確実に成長していることも感じることができます。2学期から新規一転がんばりましょう!